

17年3月期連結決算 補足説明資料

(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

1. 連結業績 (億円)

	16/3期 実績	17/3期 実績	増減	
			金額	率
売上高	1,536	1,574	+38	+2.5%
営業利益	64	65	+1	+2.2%
経常利益	51	53	+2	+3.8%
当期純利益	31	30	-1	-3.6%

1) 売上高は、前期比38億円増加(+2.5%)

- ・国内売上は、前期比12億円増加(+0.9%)
 - ・自然災害の影響があったものの、新型トラクターATの好評、「キセキふれ愛体感試乗キャンペーン」効果により増収。
- ・海外売上は、前期比26億円増加(+19.2%)
 - ・北米市場では新型トラクター及びサブコンパクトトラクター「GCシリーズ」が好評で大幅増収。欧州、アジア市場も順調。

	16/3	17/3	増減 (億円)
農業機械	735	741	+6
作業機その他	668	674	+6
国内計	1,403	1,415	+12
海外計	133	159	+26
(内、製品)	(115)	(146)	(+31)
売上合計	1,536	1,574	+38

2) 営業利益は前期比1億円増加(+2.2%)

- ・営業利益は、養液栽培施設の採算悪化(▲4億円)および、急激な増産による一時的な操業費発生(▲5億円)があったが、増収とコストダウン、効率化で吸収し微増益。

3) 経常利益は前期比2億円増加(+3.8%)

- ・金融収支改善(+2億円)により増益。

4) 当期純利益は、前期比1億円減少(-3.6%)

- ・当期純利益は、クレジット事業売却益等により特別利益が増加したが、法人税等の負担増により微減益。

2. 連結有利子負債の削減

					(億円)
16/3 実績	17/3 中期	17/3 実績	増 対中期	減 対前期	18/3 中期
783	750	612	- 138	- 171	690
*16/10 発行 CB100 億含む					(目標)

- 当期の連結有利子負債残高は、資金の効率化に加え、クレジット事業の売却収入を借入金返済に充当したこと等により、前期末比 171 億円削減し 612 億円。
- 今中期計画では、収益構造改革を図り財務体質を強化するため、在庫削減、有利子負債削減、収益ロスの削減等を推進。
その成果として、中期目標平成 17 年度末の有利子負債残高 600 億円台を 1 年前倒し達成。

3. 平成 18 年 3 月期業績予想（連結）

（億円）

	17/3 期 実績	18/3 期 予想	増減	
			金額	率
売上高	1,574	1,630	+ 56	+ 3.6%
営業利益	65	85	+ 20	+30.8%
経常利益	53	75	+ 22	+41.5%
当期純利益	30	40	+ 10	+33.3%

1) 売上高は前期比 56 億円増加（+3.6%）

	17/3 期 実績	18/3 期 予想	増減		(億円)
			金額	率	
国内売上	1,415	1,460	+ 45	+ 3.2%	
海外売上	159	170	+ 11	+ 6.9%	
（内、製品）	（ 146 ）	（ 165 ）	（ + 19 ）	+13.0%	
売上高	1,574	1,630	+ 56	+ 3.6%	

・ 国内売上高は前期比 45 億円増加 (+3.2%)

・ 昨年 6 月に発売開始した「ジアス A T トラクター」と 17 年度新商品により、ラインアップを強化し、トラクターを中心に増収を見込む。

・ 海外売上高は前期比 11 億円増加 (+6.9%)

・ 北米、欧州向けには 17 年 1 月に新型トラクター、3 月に乗用芝刈機「ゼロターンモア」を発売し増収の見込み。

・ 中国市場は 17 年 4 月よりコンバインの本格販売開始。

2) 営業利益は、前期比 20 億円増加 (+30.8%)

・ 営業利益は、資材値上げ等収益圧迫要因が予想されるが、前期発生した一時的採算悪化要因の解消 (+9 億円)に加えて、増収とコストダウンにより 20 億円の増益を見込む。

尚、生産体制の強化は、当年 5 月から実施中。

3) 経常利益は、前期比 22 億円増加 (+41.5%)

・ 金融収支改善等により 22 億円の増益を見込む。

4) 当期純利益は、前期比 10 億円増加 (+33.3%)

・ 固定資産減損処理を織込むが、当期純利益は 10 億円の増益を見込む。

以 上